



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年2月9日

上場会社名 小池酸素工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6137 URL http://www.koikeox.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横田 修
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 岡崎 隆 TEL 03-3624-3111
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	32,559	15.2	918	165.3	1,057	106.8	460	—
26年3月期第3四半期	28,259	△3.6	346	△46.7	511	△35.8	△300	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 1,229百万円 (55.2%) 26年3月期第3四半期 792百万円 (50.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	11.12	—
26年3月期第3四半期	△7.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	52,935	27,404	48.4	618.35
26年3月期	52,628	26,013	46.1	586.33

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 25,598百万円 26年3月期 24,277百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	4.00	4.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	7.9	1,300	100.3	1,370	68.5	700	—	16.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

27年3月期3Q	45,229,332株	26年3月期	45,229,332株
27年3月期3Q	3,831,398株	26年3月期	3,824,724株
27年3月期3Q	41,401,811株	26年3月期3Q	41,417,722株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、業績の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	9
生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国経済が堅調に推移したものの、中国・ブラジルなどの新興国経済の成長鈍化や欧州経済の停滞感などから先行き不透明な状況が続きました。

一方、わが国経済は、政府の経済政策や日本銀行の金融緩和等により企業収益や雇用情勢に改善の動きが広がり、景気は緩やかに回復しましたが、個人消費については、消費税率の引き上げによる実質的な支出増加や円安を背景とした諸物価の上昇などにより伸び悩みました。

当社グループの主要先である建設・建築業界では労働力不足、資材価格の上昇による建設工事の遅れなどがありました。また、産業機械業界では生産の増加、造船業界では手持ち工事量に回復が見られました。

このような状況のもと、当社グループは世界市場に向けた新技術・新製品の開発、また、収益確保を目指した原価低減、経営の効率化に取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は325億59百万円（前年同期比15.2%増）、経常利益は10億57百万円（同106.8%増）、四半期純利益は4億60百万円（前年同期は四半期純損失3億円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

機械装置

機械装置部門においては、4月に東京で開催された2014国際ウエルディングショーに、世界初となる遮光壁が不要の門型5kW「ファイバーレーザー切断機」を展示し、好評を得て、受注につなげることができました。また、中・大型切断機については、造船や産業機械業界を中心に受注が増加しました。さらに、国内外で実演車を活用して、展示販売活動を強化するとともに、国内各地にて「こいけ市」を開催し、ポータブルCNC切断機「PNC-12」をはじめとする多くの受注を得ることができました。

海外においては、中国の北京エッセンショー、ドイツのEuroBLECH2014（国際板金加工技術見本市）、アメリカのFABTECH2014、タイのThai Metalex 2014等の展示会に出展し、多くの引き合いを得ることができました。また、韓国で「ファイバーレーザー切断機」の海外初号機を受注しました。さらに、ブラジルの造船所へ切断機等の第一次引渡しを完了し、サウジアラビアからは油槽タンク製造用溶接装置の大量一括受注を得ることができました。

生産面においては、新プラズマ電源「SUPER-400 Pro」の発売を契機に、プラズマ切断機が生産量が増加しました。また、当社グループでの部品共通化により高稼働への対応やコストダウンを進めるとともに、更なる改良を重ね、新型切断機の開発を推進しております。

その結果、売上高は142億56百万円（前年同期比23.6%増）、セグメント利益は7億42百万円（同564.1%増）となりました。

高圧ガス

工業用ガスにおいては、鉄鋼関連を中心に酸素・窒素・炭酸などの主要ガス販売量は堅調に推移しましたが、電気料金上昇に伴う製造コストの増加や、円安によるヘリウム調達コストの増加などにより工業用ガスを取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いております。

営業面では、2014国際ウエルディングショーにおいて、水素ベース溶断用混合ガスや高品質溶接用混合ガスを中心に出展し、切断装置・溶接装置とあわせてガス納入のための営業活動を行い、新規ガスを受注することができました。また、新分野として農作物の成長促進効果がある「グリーンガス」の営業活動を開始しました。

生産面においては、ガスの安定供給のため、老朽化した液化ガスローリー車の更新を行うとともに、品質確保と原価低減に努めました。また、保安確保や放置容器・不明容器撲滅に向け、容器RFタグ（ICタグ）の導入を推進するとともにユーザー向けの保安講習会を実施しました。

医療分野においては、HOSPEX Japan 2014（医療福祉設備展）において「クロモフェアF」（LED無影灯）や「院内映像タッチパネルコントロールシステム」を出展し、多くの引合いを得ることができました。また、睡眠医療分野においては、「ジャスミン」（睡眠時無呼吸症候群治療装置）の改良を行い、契約を伸ばしました。さらに、「ヨックスディスポ・オペ」（手術室用真空吸引器）は感染管理面での評価も高まり、売上は堅調に推移しました。

その結果、売上高は117億70百万円（前年同期比5.2%増）、セグメント利益は6億49百万円（同15.2%減）となりました。

溶接機材

溶接機材部門においては、都市再開発による高層ビルや大型物流倉庫などの工事量が増加しており、建築・鉄骨向けの需要が増加しました。また、溶接工不足解消に向けて鉄骨ファブリーケーターでの溶接ロボットの導入が進み、溶接材料の需要が大幅に増加しました。

溶接機器においては、2014国際ウエルディングショーや国内各地で開催した「こいけ市」にて、溶接コストの削減、溶接品質向上を目的として、アルミ・ステンレス・軟鋼などの材料ごとに最適な溶接機やガス等を組み合わせた溶接プロセスを実演し、多くの引合いや受注を得ることができました。また、11月からアタックキャンペーン2015を開始し、溶接関連商品の拡販活動を行いました。さらに、個人向け一般市場開拓を目的として、JAPAN DIY HOMECENTER SHOW 2014に小型溶接機、切断機を出展し、溶接体験コーナーに多くの来場者を集めることができました。

その結果、売上高は62億43百万円（前年同期比19.1%増）、セグメント利益は1億53百万円（同39.7%増）となりました。

その他

ガス機器においては、大学研究機関を中心に営業活動を行い、ヘリウム液化機を納入しました。

排ガス処理装置においては、原価低減に取り組むとともに、国内外で新規顧客獲得に向けた販売体制の構築に取り組み、新製品を中心に営業活動を行いました。

しかしながら、中国経済の減速ならびに価格競争激化により低調な推移となりました。

その結果、売上高は2億90百万円（前年同期比1.6%減）、セグメント損失は23百万円（前年同期はセグメント損失9百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明**(資産)**

当第3四半期連結会計期間末の総資産は529億35百万円で、前連結会計年度末比3億7百万円の増加となりました。

流動資産合計は299億40百万円で、前連結会計年度末比13億40百万円の減少となりました。これは主に受取手形及び売掛金が11億49百万円減少したことによるものです。

固定資産合計は229億95百万円で、前連結会計年度末比16億47百万円の増加となりました。これは主に設備投資により有形固定資産が5億8百万円増加、株価の上昇により投資有価証券が8億21百万円増加したことによるものです。

(負債)

流動負債合計は181億25百万円で、前連結会計年度末比18億16百万円の減少となりました。これは主に支払手形及び買掛金が3億24百万円減少、短期借入金が8億98百万円減少したことによるものです。

固定負債合計は74億5百万円で、前連結会計年度末比7億31百万円の増加となりました。これは主に長期借入金2億92百万円増加、繰延税金負債が3億85百万円増加したことによるものです。

(純資産)

純資産合計は274億4百万円で、前連結会計年度末比13億91百万円の増加となりました。これは主に四半期純利益の計上により利益剰余金が6億82百万円増加、株価の上昇によりその他有価証券評価差額金が5億27百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は48.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年11月7日発表の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項**(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動**

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示**(退職給付に関する会計基準等の適用)**

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が103百万円増加し、利益剰余金が66百万円増加しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,770	7,550
受取手形及び売掛金	14,031	12,882
商品及び製品	4,991	5,197
仕掛品	1,677	1,575
原材料及び貯蔵品	1,850	1,993
その他	1,208	996
貸倒引当金	△248	△254
流動資産合計	31,281	29,940
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,388	4,357
機械装置及び運搬具(純額)	1,652	1,558
工具、器具及び備品(純額)	429	491
土地	9,387	9,870
リース資産(純額)	823	926
建設仮勘定	39	25
有形固定資産合計	16,721	17,229
無形固定資産		
のれん	27	43
リース資産	6	5
その他	206	192
無形固定資産合計	239	241
投資その他の資産	4,386	5,523
固定資産合計	21,347	22,995
資産合計	52,628	52,935

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,665	10,341
短期借入金	4,323	3,424
1年内返済予定の長期借入金	1,104	1,097
1年内償還予定の社債	40	40
未払法人税等	255	128
賞与引当金	346	256
役員賞与引当金	46	32
受注損失引当金	—	3
製品保証引当金	42	27
その他	3,117	2,772
流動負債合計	19,941	18,125
固定負債		
社債	60	40
長期借入金	1,833	2,125
役員退職慰労引当金	229	213
退職給付に係る負債	163	151
資産除去債務	14	14
その他	4,373	4,860
固定負債合計	6,673	7,405
負債合計	26,615	25,531
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,028	4,028
資本剰余金	2,357	2,357
利益剰余金	16,412	17,094
自己株式	△914	△915
株主資本合計	21,884	22,564
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	782	1,309
繰延ヘッジ損益	—	△1
土地再評価差額金	1,238	1,238
為替換算調整勘定	219	351
退職給付に係る調整累計額	152	135
その他の包括利益累計額合計	2,392	3,034
少数株主持分	1,735	1,805
純資産合計	26,013	27,404
負債純資産合計	52,628	52,935

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	28,259	32,559
売上原価	20,820	23,892
売上総利益	7,439	8,667
販売費及び一般管理費	7,092	7,748
営業利益	346	918
営業外収益		
受取利息	16	20
受取配当金	59	61
受取賃貸料	64	62
持分法による投資利益	—	29
物品売却益	20	25
為替差益	150	40
貸倒引当金戻入額	9	56
その他	67	36
営業外収益合計	388	332
営業外費用		
支払利息	107	97
賃貸費用	42	53
その他	74	43
営業外費用合計	223	193
経常利益	511	1,057
特別利益		
固定資産売却益	43	25
投資有価証券売却益	35	3
その他	1	—
特別利益合計	81	28
特別損失		
固定資産除売却損	16	21
減損損失	304	3
のれん償却額	—	11
その他	5	12
特別損失合計	326	50
税金等調整前四半期純利益	265	1,036
法人税、住民税及び事業税	231	305
法人税等調整額	243	164
法人税等合計	475	470
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△209	565
少数株主利益	90	104
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△300	460

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△209	565
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	241	527
繰延ヘッジ損益	—	△1
為替換算調整勘定	761	154
退職給付に係る調整額	—	△16
その他の包括利益合計	1,002	664
四半期包括利益	792	1,229
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	626	1,102
少数株主に係る四半期包括利益	165	127

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日至平成25年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械装置	高压ガス	溶接機材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	11,530	11,191	5,242	27,964	294	28,259	—	28,259
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	11,530	11,191	5,242	27,964	294	28,259	—	28,259
セグメント利益 又は損失(△)	111	766	109	988	△9	978	△632	346

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃焼式排ガス処理装置、ヘリウム液化機、加熱プラズマ機器の製造・仕入・販売業が含まれております。

2. セグメント利益の調整額△632百万円には、セグメント間取引消去114百万円、のれんの償却額△50百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△712百万円、棚卸資産の調整額7百万円、その他の調整額9百万円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成26年4月1日至平成26年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械装置	高压ガス	溶接機材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	14,256	11,770	6,243	32,269	290	32,559	—	32,559
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	14,256	11,770	6,243	32,269	290	32,559	—	32,559
セグメント利益 又は損失(△)	742	649	153	1,546	△23	1,522	△603	918

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃焼式排ガス処理装置、ヘリウム液化機の製造・仕入・販売業が含まれております。

2. セグメント利益の調整額△603百万円には、セグメント間取引消去96百万円、のれんの償却額△10百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△728百万円、棚卸資産の調整額34百万円、その他の調整額4百万円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	前年同四半期比 (%)
機械装置 (百万円)	11,880	117.2
高压ガス (百万円)	267	90.7
報告セグメント計 (百万円)	12,148	116.4
その他 (百万円)	—	—
合計 (百万円)	12,148	116.4

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第3四半期連結累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
機械装置	12,309	152.2	6,566	127.6

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。
3. 受注高及び受注残高につきましては、標準機・部品等の金額を含めておりません。

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	前年同四半期比 (%)
機械装置 (百万円)	14,256	123.6
高压ガス (百万円)	11,770	105.2
溶接機材 (百万円)	6,243	119.1
報告セグメント計 (百万円)	32,269	115.4
その他 (百万円)	290	98.4
合計 (百万円)	32,559	115.2

- (注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。